

INFO-HIRO-21

第496号 2020年12月1日
弘前大学総務部総務広報課

新型コロナウイルス感染症の状況により、イベント・行事の実施について、変更が生じる場合がございます。最新の情報は弘前大学公式ホームページ (<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>) にてお知らせいたします。

イベントのお知らせ

令和3年度医工学技術者養成講座 応募説明会の開催について

理工学研究科附属医用システム創造フロンティアでは、令和3年度医工学技術者養成講座の応募説明会を下記のとおり開催いたします。この講座は理工学研究科附属医用システムフロンティアが開講する社会人向けの教育プログラムです。

日時：令和2年12月11日（金）17：00～

場所：弘前大学理工学部1号館3階305号室（弘前市文京町3番地）

< 講座内容 >

弘前大学大学院理工学研究科博士前期課程の中から厳選した5つの科目を、現役社会人の方に大学院生と一緒に受講していただく履修証明プログラムです。対象科目は、機械科学コース医用システム分野のカリキュラムに属する医学と工学の境界分野なので、理工学研究科、医学研究科、および保健学研究科の連携で講義を行います。この科目の講義を通算60時間以上履修すると履修証明書が発行されます。（ご注意：本講座は、単位や学位を授与するものではありません。）

< 受講対象者 >

地域の製造業およびその関連産業に従事している現役の社会人（大卒相当以上の学歴をお持ちの方）

< 受講期間 > 1～2年間 < 受講料 > 3万円

< 現役社会人受入れのための工夫 >

- ・現役社会人の方も比較的受けやすい時間帯に開講されます。（平日開講ですが、夕方／2コマ連続／夏季集中講座 など）
- ・毎週必ず通わなければならないではありません。通算で60時間以上を受講すれば、履修証明書を受けられます。（ただし、追加の条件があります。）
- ・1年間でも修了できますが、2年間まで在籍できます。追加費用はかからない予定です。

弘前大学
医工学技術者養成講座
令和3年度 受講者募集
理工学研究科附属医用システム創造フロンティアが開講する社会人向けの教育プログラムです
受講期間：1～2年間 受講料：3万円
現役社会人の方が学びやすいプログラムにしました
応募説明会
令和2年12月11日（金）17:00～
弘前大学理工学部1号館3階305室
（弘前市文京町3）
※裏面の「問い合わせ先」に電子メールでお申し込みください。

問合せ先
 附属医用システム創造フロンティア事務局 杉本 尚子
 E-mail: msif [at] hirosaki-u. ac. jp
 TEL: 0172-39-3684
 (※メールアドレスの [at] は@に変えてお送りください。)

2020年度旧弘前藩藩校稽古館資料調査報告会

弘前藩の藩校「稽古館」が所蔵していた古典籍資料は、現在、東奥義塾高校の図書館に引き継がれ、大切に保存・管理されています。これらは、近世の津軽地域における文化・育のあり方や、知的営為を解き明かすための貴重な資料です。弘前大学人文社会科学部では、2014年に教員の研究チームを作り、以来、学部外・学外の研究者の協力を得ながら調査を行い、随時成果を報告してきました。調査は7年目、今回の調査報告会は7回目となります。今年は、調査に関わる教員が、各専門分野の立場から最新の研究成果を報告いたします。お気軽にご参加ください。

日時：2020年12月13日（日）13：30～16：00
 ※参加無料。ZoomによるWeb開催（事前予約制）。

場所：
 ◇Zoomによるオンライン視聴参加

◇パブリックビューイング会場での公開視聴参加
 弘前大学人文社会科学部4階多目的ホール（青森県弘前市文京町1番地）
 ※事前予約制・定員40名（先着順）・青森県内在住者対象
 ※社会状況によっては会場での公開視聴は中止する場合があります。

主なプログラム：
 【研究報告】今年度の調査の成果を、各専門分野の立場から弘前大学教員が報告します。
 人文社会科学部 教員 7名

問い合わせ：弘前大学人文・地域研究科総務グループ 担当：古川・武井
 〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
 電話：0172-39-3198(平日10：15～17：00) メール：irrc@hirosaki-u.ac.jp

第22回青森継続看護研究集会開催のお知らせ

保健学研究科地域保健医療教育研究センターでは、「在宅における安心・安全のための薬剤管理の現状」をメインテーマとした教育講演及び交流集会を下記のとおり開催いたします。

在宅療養において安全に服薬を続けることは基本的に重要でありながら、療養者と家族だけでは安全な服用が難しい事例に対して、在宅療養支援がどのように行われ、工夫を凝らしているのかを知る機会となれば幸いです。ひいては、在宅療養が安心して続けられるための多職種連携について考える機会にもつながると期待しております。

なお、今回はCOVID-19の感染拡大の状況から、できるだけオンラインによるご参加をお願いしています。ご参加を希望の方はポスターにあるURL、もしくはQRコードから事前申込をお願いいたします。

たくさんのご参加、お待ちしております。



○事前参加受付フォームURL <https://forms.gle/SHwBrVgTFyGcmnPB6>

※受付期間は12月7日とありますが、それ以降も受付いたします。

1. 日 時： 令和2年12月20日（日） 13:00～16:00

2. 会 場： オンライン開催（来場可）
弘前大学大学院保健学研究科 63講義室
青森県弘前市本町66-1

3. 参加費： 無料（事前申込としております）

4. プログラム：

○教育講演「在宅療養下における薬剤師の役割」

講師：小林 輝信 氏（徳永薬局 在宅医療部 本部長）

座長：金澤 佐知子 氏（弘前大学医学部附属病院 副薬剤部長）

○パネルディスカッション「津軽地域の在宅における安心・安全のための薬剤管理の現状」

コーディネーター 相馬 渉 氏 ファルマ弘前薬局

パネリスト

奈良岡 由佳 氏 健生訪問看護ステーションたまち・ちとせ支所

戸田 祐磨 氏 健生介護センター虹・居宅介護事業所

葛西 孔明 氏 ファルマ弘前薬局

※この事業は、公益社団法人青森医学振興会の助成を受けて開催します。

後援：青森県看護協会 青森県訪問看護ステーション連絡協議会 弘前薬剤師会

【問い合わせ】弘前大学大学院保健学研究科 山田基矢

FAX：0172-39-5951 E-mail：yama3010@hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

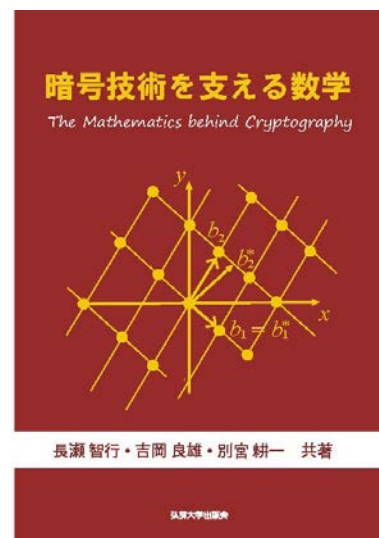
弘前大学出版会から新刊のご案内

長瀬智行（理工学研究科准教授）・吉岡良雄（弘前大学名誉教授）・別宮耕一（理工学研究科准教授）共著『暗号技術を支える数学（The Mathematics behind Cryptography）』（B5判, 230頁, 定価2,640円：税込）を出版しました。

【紹介文】

インターネットやSNS, 電子マネーなどの普及により, 情報漏えいや情報窃盗などの不正行為が頻繁に発生している。これらに対応するには, 情報を保護するための暗号や著作権保護が欠かせない。特に, 電子マネーでは, コピーや変更などの不正行為ができない機密性の高い暗号や情報保護の仕組みが必須となる。キャッシュレス時代にはさらに頑強な暗号や情報保護の仕組みが要求される。本書は, 代数学および情報セキュリティの分野を学ぶ学生や初学者および開発技術者に対して, 現状の暗号や著作権保護の仕組みを分かり易く解説し, より頑強な暗号や情報保護の仕組みを構築するために必要な基礎的事項を述べたものである。また, 本書の内容をより深く理解できるように, 付録には計算結果や処理方法についてのC言語プログラムを掲載した。

ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。



国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第58号」では、「Challenge! 国立大学」において、弘前大学の100円夕食の取り組みが紹介されています。ぜひご覧ください。

最新号「国立大学第58号」

https://www.janu.jp/report/files/janu_vol58.pdf

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<https://www.janu.jp/report/>

その他、第52号・第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：INFO-HIRO-21は毎月1日、月1回発行しています。

講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿は発行予定日の7日程度前までに、掲載希望の旨付記し、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029